

# 木造住宅の耐震改修工法

[名 称] 耐震ポールによる木造住宅 の外部耐震補強設計法	評価番号	W-004
	評価年付日	H24. 3. 15
[申請者] 株式会社 シーク建築研究所	[他機関での評価] (財) 日本建築防災協会	

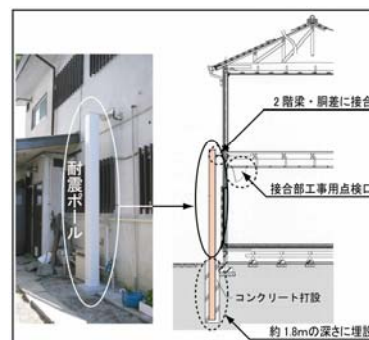
## ◆ 補強方法の概要

数本の鋼製のポール（耐震ポール）を家の周りの地中（約 1.8m）に深く設置しポール上部を 2 階床レベルの胴差または梁にボルトで緊結することで、建物の倒壊を防止する工法である。地震の際、家屋に生じた地震力の大部分は、2 階床を通して周囲のポールに伝達される。その結果、既存家屋 1 階に入力される地震力は低減され安全になる。



## ◆ 工法の特徴

- ① ポールの本数により容易に必要な強度および偏心を調整できる。
- ② 現状の景観を壊さないポールの配置が可能な上のような建物に対しても自由に色調や形を調和させることが可能。
- ③ 殆ど外部施工であるため、居ながら施工が可能。
- ④ 採光、通風、動線等の生活環境を変えない。



## ◆ 施工事例

建築年：昭和 50 年 規模：2 階建

耐震性能：2 階 X 方向：0.66→1.21

Y 方向：1.13→1.13

1 階 X 方向：0.53→1.53

Y 方向：0.70→1.70

工事期間：10 日（現場施工期間）

施工時期：平成 20 年 7 月

工事内容：建物の外側に耐震ポールを 4 本設置、  
2 階の壁に構造用合板を 2 箇所取り付け。

工事費用：260 万円、調査・診断・補強設計・  
付帯工事費含む、消費税別途



[問い合わせ先] 認定施工会社中部地区代表

株式会社 丹羽組 〒482-0033 愛知県岩倉市神野町縄境 7

Tel 0587-37-7000 Fax 0587-37-0100 Url <http://www.niwagumi.com>

